

授業改善の工夫	実社会や日常生活との関わりを見いださせる工夫
---------	------------------------

小学校社会科 第5学年 「わたしたちの生活と食料生産」	
単元名	「米づくりのさかんな地域」
単元のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の稲作における食料生産について、生産量の変化、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して調べ、稲作に関わる人々の工夫や努力を捉え、稲作が国民生活に果たす役割やその働きを考え、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。</li> <li>我が国の稲作における食料生産について、消費者や生産者の立場から多角的に追究し、今後のよりよい発展のあり方を考えようとしている。</li> </ul>

○ 単元の評価規準

知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の稲作における食料生産について、生産量の変化、生産の工程、人々の協力関係、技術の向上、輸送、価格や費用などに着目して調べ、稲作に関わる人々の工夫や努力を捉え、稲作が国民生活に果たす役割やその働きを考え、国民の食料を確保する重要な役割を果たしていることを理解することができる。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の稲作における食料生産について、消費者や生産者の立場から多角的に追究し、今後のよりよい発展のあり方を考えようとしている。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>我が国の稲作について、地域の事例を基に意欲的に調べている。</li> <li>身近な地域の稲作についての現状と課題から、今後のよりよい発展のあり方を考えようとしている。</li> </ul>

○ 単元の指導計画

時	学習活動	評価規準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>米づくりのさかんな地域をとらえ、米の食味ランキングと、JAの米の取引金額から学習問題を設定する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;">           同じ福島県の特Aなのに、会津産の米の金額が高いのはなぜだろう。         </div>		食味ランキングにおいて、同じ福島県の特Aでも、取引金額が違うことに着目し、問題を見いだしている。	解決の見通しを立てたり、解決の方法を考えたりしようとしている。
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>地図や雨温図、資料の読み取りを関連付けて、会津地方では米づくりがしやすいように圃場整備を進め、自然条件を生かして行われていることを理解する。</li> </ul>	会津地方の稲作は、圃場整備を進め、自然条件を生かして営まれていることを理解している。		我が国の稲作について、自分の住む地域の事例を基に意欲的に調べている。
3 ・ 4	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域で米のインターネット直販に取り組む農家への取材を通して、どのような工夫や努力があるのかを考える。</li> </ul>		米の生産の工程や米づくりに対する思いに着目し、農家の工夫や努力を捉えている。	

5	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の農家が直面している風評被害の実際について、福島県民と福島県民以外の意識調査を基に調べる。</li> </ul>	<p>福島県産米について福島県民と福島県民以外の間では意識に差があることを理解している。</p>		
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>JAの営農指導員への取材を通して、JAが営農指導や農機具や肥料の販売によって農家を支えていることを理解する。</li> </ul>	<p>農家とJAとの協力関係に着目して取材することを通して、JAが米の生産性や品質を高め、農家を支えていることを理解している。</p>		
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>福島県農業総合センター会津地域研究所の方への取材を通して、会津の気候や土壌にあった品種の開発によって農家を支えていることを理解する。</li> </ul>	<p>農家と農業総合センターとの協力関係に着目して取材することを通して、米の生産性や品質を高め、農家を支えていることを理解している。</p>		
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な大人に対して行った米の購入に対する意識調査の結果から、農家が抱えている課題について話し合う。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p>【実社会につながる学習問題】 風評被害をなくすために、自分たちは何ができるだろう。</p> </div>		<p>生産者、消費者の立場から多角的に考えたことを基に、農家の現状と課題について考えている。</p>	<p>身近な地域の稲作の現状と課題から、今後のよりよい発展のあり方を考えようとしている。</p>
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>民間の精米工場の放射能品質検査を見学することを通して、会津産米に対する安全への取組を理解する。</li> </ul>	<p>風評被害対策として放射能品質検査を行うなど、食の安全への取組について理解している。</p>		<p>風評被害払拭のために、自分たちができることを考えて、提案したり、実践したりしようとしている。</p>
10 ・ 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>風評被害払拭のために、福島県産米の安全性やおいしさが伝わるようにポスターやパンフレットにまとめる。</li> </ul>		<p>追究を通して身に付けた知識や調べた資料を活用して、風評被害払拭に役立つ内容を考えている。</p>	
時間外	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分たちが作成したポスターやパンフレットの意味をJAの方に伝え、JAの直売所に掲示してもらおう。</li> <li>自分たちの活動を広く知ってもらうために新聞社に取材を依頼し、新聞記事にってもらおう。</li> </ul>			